



(協) 全国共同店舗連盟 副理事長  
協同組合メイト 理事長  
河瀬 進

### 「共同店舗は人を磨く砥石」

全国共同店舗連盟創立 50 周年を迎えるに当たり、日頃からご支援、ご協力をいただいている中小企業庁、中小企業基盤整備機構をはじめ関係各機関に厚く御礼申し上げます。

また、連盟参加の共同店舗組合員には連盟の運営にご協力をいただきありがとうございます。

10 年前、平成 18 年の創立 40 周年記念紙の寄稿に「趣味は協同組合メイト・共同店舗」のタイトルで寄稿いたしました。10 年が経過した今、ますますその思いが強くなっています。

「協同組合メイト」は、昭和 61 年にオープンして約 31 年が経過し、この 31 年間（準備段階から 35 年間）は、私にとっては私自身が磨かれた 31 年間でもありました。

昭和 57 年に地域零細小売業者に呼びかけて準備組合設立、建設土地の権利調整、計画診断と進み、もう少しで建設着工という段階まで来たところで大規模小売店法の規制強化の通達で計画がとん挫、核店舗スーパーマーケットも脱退という絶体絶命の状態。苦肉の策として組合員有志 4 名で出資会社を設立して、核店舗スーパーマーケットを経営することになりました。しかし、誰一人経験のないスーパーマーケットがうまくいくはずがありませんでした。初年度から、目標売上 60% の売上で大幅な赤字の船出でした。しかし、人間あきらめずに努力を重ねるもので、12 年後の平成 10 年には準備段階に参加予定であった競合スーパーマーケットが倒産、素人の集まりが老舗競合店に勝ったのです。さらに何度かの競合店の進出にも対抗しながら健全な組合運営を続けています。

「どれだけ思いが強いか、それをどれだけどのように実践するか。」肝に銘じて日々努力しています。時代は大きく変わっています。

共同店舗には、さまざまな形態の共同店舗、規模、立地環境、財務内容、メンバー構成、後継者等、我が共同店舗の特性をしっかりと把握して変化に対応しなければ生き残っていくことは困難だともっています。

協同組合方式の共同店舗は、責任の所在が曖昧なところが弱点であり責任をもって舵取りするリーダーが必要です。そして、組合員が 1 枚岩になってこれからの我が共同店舗を発展していかなければなりません。

「協同組合メイト」は、平成 27 年に駐車場増設の機会に駐車場の一角にポケットパークを整備して消費者に地域住民にコミュニティの場として開放し、地域商業者の集合体として地域と共に歩むことを目指し邁進してまいります。